

建設系分会は、我が国の市民生活・経済産業活動を支える 社会資本の整備に取り組む建設技術者の集まりです。

1. 建設系分会の概要について

建設系分会は一般社団法人明専会の支部の一つ（在京の他の5分会と一体となって東京支部を構成して、連携をとっています）で、下記の、我が国の市民生活・経済産業活動を支える社会資本の整備に取り組む建設技術者の集まりです。

◇ 明治専門学校創設以来の伝統を誇る鉱山工学科（採炭科、採炭工学科を含む）および 昭和37年に改組された開発土木工学科、設計生産工学科（建設工学コース）、建設社会工学科を卒業及び同系の大学院を修了した者（下表参照）

◇ 東京都、千葉・神奈川・埼玉の各県及びその近郊に勤務及び在住されている者

現在の会員（連絡先が確認されている方）は、昭和41年度の卒業生から令和6年度まで、約285名を数え、会員相互の交流と親睦を図り、東京支部や母校と連携して、学生育成の支援に努め母校の発展に寄与していくことを目的に活動を進めております。

分会の主な定期的な活動は、①年次総会及び新人歓迎会、②春と秋の講演会、③年数回の幹事会及び東京支部主催の各種のイベントへの参加・協力です。最近では、Web併用のハイブリッド開催の実施や、会員の皆様方のご協力もあり、これらの活動への参加会員数が20名を超えるようになりました。さらに参加者を30名に近づけることと、平成年代の若手、女性会員の分会活動への積極的な参画を図ることを、当面の目標として努力致しております。

（参考）建設系学科の沿革	
1907（明治40）年	私立明治専門学校設立許可
1909（明治42）年	私立明治専門学校（4年制）開校 採鉱学科 設置
1921（大正10）年	官立移管 鉱山工学科 改称
1938（昭和13）年	採炭工学科 増設
1944（昭和19）年	明治工業専門学校（3年制）改称 採鉱科 改称
1946（昭和21）年	採鉱科鉱山分科・採鉱科土木分科 設置

1949（昭和 24）年	九州工業大学 設置（5 月 31 日） 鉱山工学科 設置 明治工業専門学校を包括
1964（昭和 39）年	開発土木工学科 改組
1988（昭和 63）年	設計生産工学科建設工学コース 改組
1997（平成 9）年	建設社会工学科 設置
2008（平成 20）年	学科内コースを建築学コース、地域環境デザインコース、都市再生デザインコースに変更
2012（平成 24）年	学科内コースを建築学コース、都市環境デザインコースに変更
2018（令和元）年	学科内コースを建築学コース、国土デザインコースに変更

2. 行事ならびに報告

●建設系分会の講演会について

建設系分会では会員相互の交流、情報交換、そして懇親の場として春と秋に講演会を開催しています。令和元年春季講演会から 7 年の春季講演会までの実績を以下に示します。

私たちが日頃取り組んでいる道路・港湾・空港・鉄道や河川の整備あるいはビル建築等の土木・建築の各種のプロジェクトは、どれ一つをとっても同じものではありません。各々のプロジェクトはそれを施工する環境において、過去の事例等を踏まえ、自然的条件・社会的条件・経済的条件等に最適な構造物が計画され、設計され、造り上げられていくのです。その過程では、最良の資材や建設機械等を組み合わせ、各分野の優秀な技術者の知見を結集して、最高の技術力を活かしていくことが求められます。

そして、優良な社会資本を市民の皆様の利用に供して、持続ある社会の発展のため、後世の人のためになる国の遺産を造り上げる仕事に取り組んでいるのです。

在学中に折に触れ、恩師から、建設工学は『経験工学』であり、建設技術者は『人を動かす』技術者であると諭された所以であります。

分会では、このような会員の皆様の日頃のお仕事に少しでもお役に立てることが出来たらと、年 2 回 一春と秋の年次総会開催時に一 講演会を開催して、母校の恩師や会員の皆様方から ①国土整備計画、地域開発計画、 ②まち造りの推進、 ③技術上の最新の課題、 ④話題の大プロジェクトの概況、 ⑤会員の現場経験談等に関する話題提供を頂き、参加者間での自由闊達な議論を展開しております。

会員の皆様多数の参加を頂いて、参加者相互の交流・懇親を深め、国土や地域社会のあり方、技術力の向上方策、プロジェクトの安全で効率的な完遂のための組織や人材の活用のある方等を論じて、我が国の市民生活の向上、経済・産業の発展を支える社会資本の整備に責任を持つ建設技術者としての矜持を高めていただきたいと願っています。

令和元年春季講演会から令和 7 年の春季講演会までの実績

講演年月日	演 題	講師氏名 (卒年)	所 属
2019 年 6 月 15 日	学科の近況と研究内容（魚のすみやすい川づくり）について	鬼束 幸樹 氏 (設建 H4)	九州工大工学研究院 建設社会工学研究系 教授
2019 年 11 月 9 日	地元歴史二題の発信『漢方医尾台榕堂と縄文火焰型土器』	吉村 重敏 氏 (開 51)	新潟 十日町市議会副議長
2020 年春	※コロナウィルス感染症緊急事態宣言発出のため、春季講演会は中止		
2020 年 11 月 7 日	地震や豪雨による地盤災害の防止に向けて	安田 進 氏 (開 45)	東京電機大学 名誉教授
2021 年 6 月 12 日	学科の近況と研究内容（歩車分離信号やラウンドアバウト）について	寺町 賢一 氏	九州工大工学研究院 建設社会工学研究系 准教授
2021 年 11 月 6 日	港湾土木工事の特徴と根入れ式鋼板セル工法の紹介	井上 博士 氏 (開 61)	東亜建設工業（株） 土木事業本部設計部長
2022 年 6 月 11 日	「生態系・風土を活かすランドスケープデザインと地域づくり」	伊東 啓太郎 氏	九州工大工学研究院 建設社会工学研究系 教授
2022 年 11 月 5 日	プレキャスト P C 床版の継手部にエンドバンド鉄筋を用いた鋼道路橋 R C 床版の取替え工法の紹介	俵 道和 氏 (設建 H10)	オリエンタル白石（株） 技術研究所 主任研究員
2022 年 6 月 11 日	身近な自然との関わりから環境づくりを考える	須藤 朋美 氏 (建都 H25)	九州工大工学研究院 建設社会工学研究系 助教
2023 年 10 月 14 日	コンクリート技術の変遷 —材料および施工について—	松岡 康訓 氏 (開 45)	元 大成建設株式会社 フェロー
2024 年 6 月 8 日	産官学一体となって取り組む治水対策	山田 邦博 氏	(一財) 日本建設情報総合センター理事長 (元国土交通省事務次官)
2024 年 11 月 2 日	道路建設のための将来交通量推計とシステム開発及び I S O 認証取得	樋口 孝憲 氏 (開 50)	元（株）日立システムズ
2025 年 6 月 21 日	本州四国連絡橋における橋梁技術の発展とマレーシアの橋梁技術	吉田 好孝 氏	(国研) 建築研究所 国際地震工学センター講師

●九州工業大学建設系同窓会について

建設系の学部・大学院の同窓生は、隔年に、学びの地・北九州に集い、親睦を深め、情報の交換を行っております。平成5年11月に第1回同窓会が開催されて以来、令和5年で13回目を数えております。毎回『建設系』の名の下に、全国各地から120名近くの同窓生が集い、旧交を温めております。第13回同窓会には、分会から10名近い会員が参加しました。また、分会員の皆様、多数、北九州へ駆けつけられることを期待しております。

【分会は、下記の者でお世話いたしております】

●分会役員名簿

分会長	柿原利孝（開46）	
幹事長(兼)	岡田光志（開62）	本部代議員
幹事		
同（会計担当）	小郷政弘（開51）	
同	藤井知秀（開57）	本部代議員
同	山口省吾（開58）	
同（書記、HP担当）	岡田光志（開62）	本部代議員

幹事若干名の増員を検討中です。

特に、平成年代、建築学コース卒の方の自薦・他薦を求めています。

●お問い合わせ・連絡先

分会へのご要望、お問い合わせ、行事へのご参加申し込み等は下記へお寄せください。

《ご連絡先》 幹事長 岡田 光志（開62）

メールアドレス：ko_okada@toa-const.co.jp

（令和7年7月 更新）